

特別講演

企業・団体等におけるSDGsの更なる推進のために - 関係者に求められる新たな視点と実践 -

千葉商科大学教授 笹谷 秀光

無断での二次利用はお断りします。 問い合わせ先info@csrsdg.com

笹谷秀光 プロフィール

官

農林水産省
外務省
環境省

産

総合飲料企業
取締役等

学

日本経営倫理学会理事
グローバルビジネス
学会理事
千葉商科大学教授



SDGs

理論と
実践

集大成



官民連携のまちづくり
「自治体SDGs」全3巻



SDGsの 主流化

1 SDGsを使いこなす

2 SDGs仲間づくり

3 SDGs発信

SDGsはなぜ世界共通言語なのか

SDGsとは何か 円環バッジ？



マーク？



SDGs : Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)

「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」

Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development

2015年9月

国連全加盟193か国の合意文書

SDGsは英文35ページの中の約15ページ

目標年次2030年

2030アジェンダの構成

前文・各種原則

SDGs(17目標と169ターゲット)

フォローアップなど

なぜ、共通言語 SDGs を使うのか

「グレート・リセット(大変革)」(Great Reset)

Xの時代 CX DX HX GX D&IX —> **SX**



「我々の世界を**変革**する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」
“**Transforming** our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development”

変革の時代の「羅針盤」



2030アジェンダを読み解く

SDGsの5原則

ビジョン、目指すべき世界像の要素

身体的、精神的、社会的福祉
(well-being)が保障される世界

公正で、衡平で、寛容で、開かれて
おり、社会的に包摂的な世界

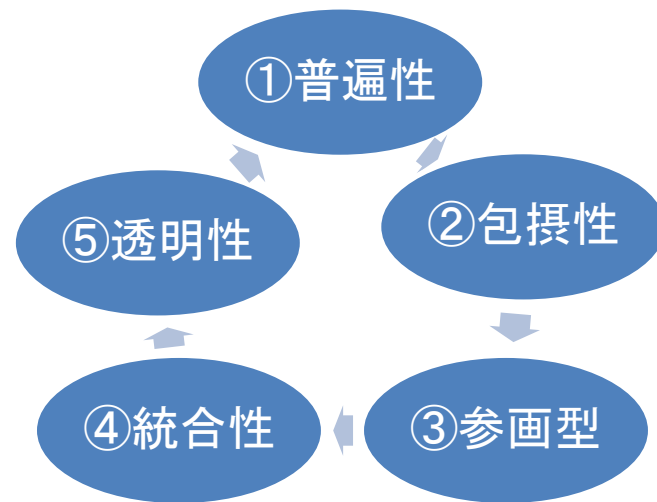
持続可能な経済成長と働きがい
のある人間らしい仕事(decent
work)を享受できる世界

パーパスへのヒント

SDGsの特色と5原則

自主的取り組み

できる人ができるところから行う



社内・社外エンゲージメントへのヒント

2030アジェンダ前文の5つのPとSDGs



図版はすべて国連広報センター
17の目標の当てはめは筆者

ビジネスのチャンスとリスク回避へのヒント

SDGsを自分事化する

2016年 世界は早かった

SDGsのウェディングケーキモデル



出典： Stockholm Resilience Centre <http://www.stockholmresilience.org/research/research-news/2016-06-14-how-food-connects-all-the-sdgs.html>

ストックホルム・レジリエンスセンター作成

SDGs11を軸に自分事化



11. 住み続けられるまちづくりを
包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続
可能な都市及び人間居住を実現する

ターゲット(キーワード)

- 11.1 住宅、基本的サービス
- 11.2 持続可能な輸送システム
- 11.3 包摂的・持続可能な都市化
- 11.4 文化遺産・自然遺産の保全
- 11.5 災害
- 11.6 都市の環境上の悪影響
- 11.7 緑地や公共スペース
- 11.a 各国・地域規模の開発計画
- 11.b 仙台防災枠組2015-2030(2020年まで)
- 11.c 後発開発途上国における建造物整備支援

SDGs図版はすべて国際連合広報局、当てはめは筆者

SDGsの総合性 カーボン・ニュートラルとSDGs/TCFD

SDGs

持続可能な開発目標
(Sustainable Development Goals)

13 気候変動に
具体的な対策を



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



15 陸の豊かさも
守ろう



ターゲット

- 13.1 自然災害に対する
強靱性（レジリエンス）
- 13.2 気候変動対策
- 13.3 気候変動の緩和、適応
教育、啓発、人的能力
制度機能

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任



4 質の高い教育を
みんなに



TCFD

気候関連財務情報開示タスクフォース
(Task Force on Climate-related Financial
Disclosures)



企業の財務が気候変動から受ける
影響・情報開示の要請

TCFDの
開示の要素

- ①ガバナンス
- ②戦略とビジネスモデル
- ③リスクと機会
- ④成果と重要な成果指標（KPI）

SDGsの 主流化

1 SDGsを使いこなす

2 SDGs仲間づくり

3 SDGs発信

どうする日本？



ゆい
結

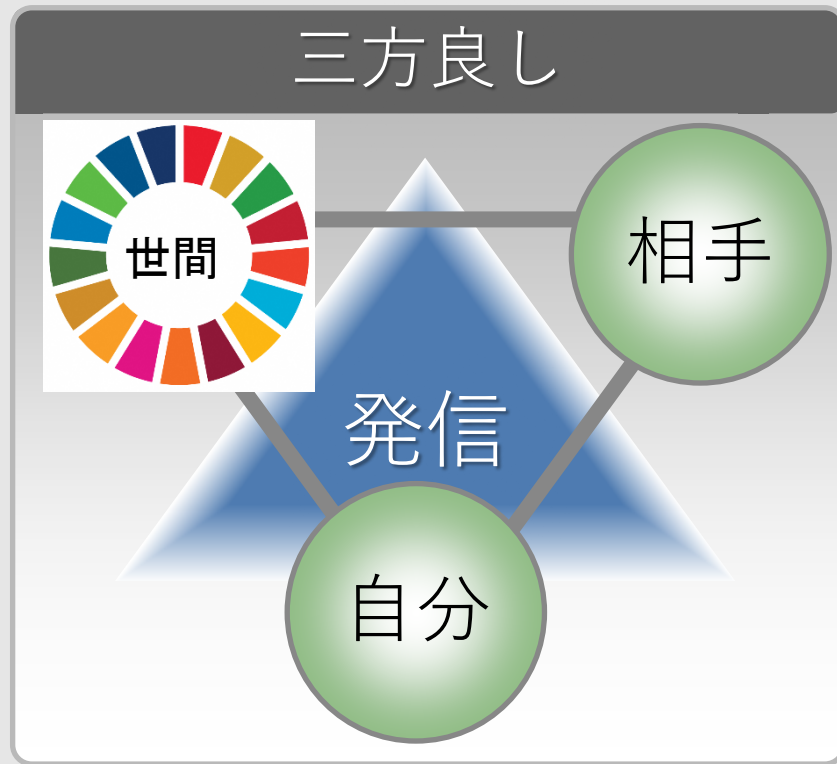
17 パートナシップで
目標を達成しよう



写真提供：岐阜県白川村

どうする日本企業？

発信型三方良しのSDGs化



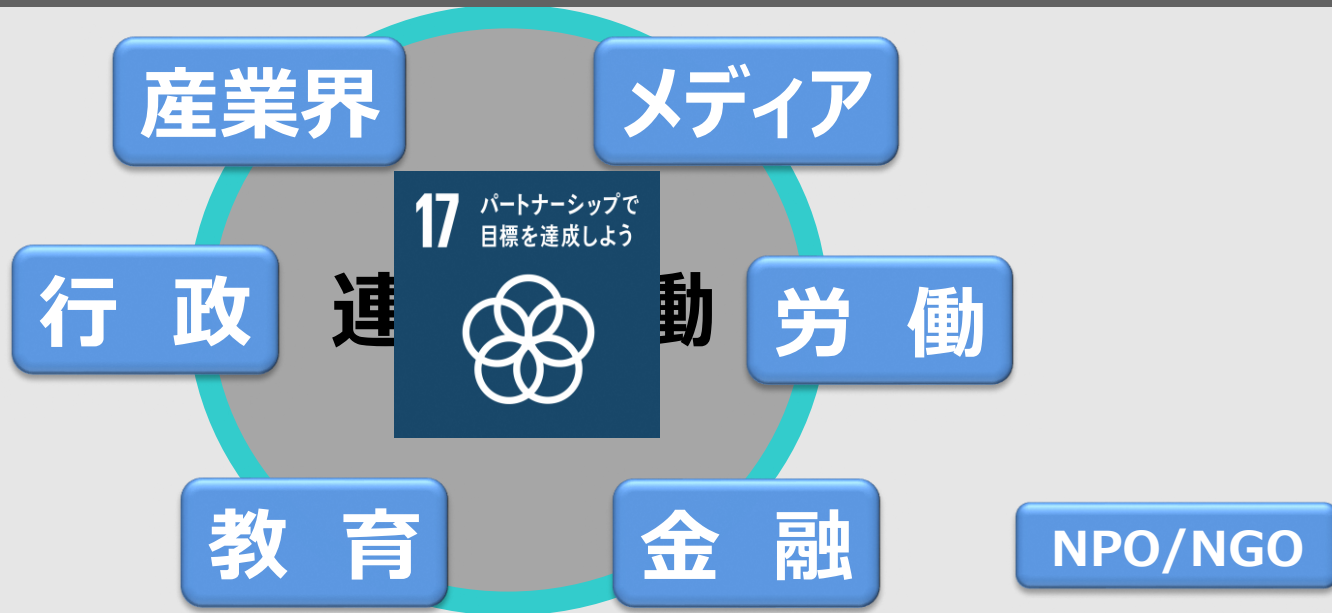
陰徳善事

発信型
(開示型)
三方よし

SDGs図版は国際連合広報局

SDGsの「産官学金労言」

活動の共通基盤(プラットフォーム)



SDGsの主流化

SDGsアクションプラン 2022

～全ての人が生きがいを感じられる、新しい社会へ～

令和3年12月
SDGs推進本部

SDGsマトリクス（抜粋）

SDGsアクションプラン2022

2021年12月24日

8つの優先課題毎に、2022年に各府省庁が進める予定の取組案を取りまとめ。予算化された案件のうち、令和3年度補正予算及び令和4年度当初予算政府案に含まれる総額は約7.2兆円（内数として予算額が特定できない施策については、合計額には含まない）。全部で544項目。

整理番号	優先課題 担当府省庁 事業（施策）名	事業概要 予算額（略）																	
1112	内閣府 3 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション	地方創生SDGsの推進 ・「SDGs未来都市」 ・「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」 ・地方公共団体等による登録・認証制度等 503百万円（令和4年当初） 100百万円（令和3年補正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
392	環境省 5 省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会	地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する公共施設への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業 2000百万円（令和4年当初） 7000百万円（令和3年補正）							○				○		○				

出所：SDGsアクションプラン2022より作成

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_Action_Plan_2022.pdf

政策そのものになった「SDGs」



Super
City

J-Tech challenges SDGs

官邸ホームページより

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kokusentoc/supercity/openlabo/supercitykaisetsu.html>

EXPO for SDGs

自治体SDGs

SDGs未来都市制度

154自治体

秋田県では、

仙北市
大仙市

内閣府資料より

北海道・東北地方



紫色：2022年度
桃色：2021年度
橙色：2020年度
緑色：2019年度
青色：2018年度
※都道府県が選定されている場合は全域を着色

2020年度 大阪府・大阪市

2025年大阪・関西万博がめざすもの

✓ 持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献

✓ 日本の国家戦略Society5.0の実現

EXPO for SDGs

国連が掲げる「SDGs（持続可能な開発目標）」達成の目標年である2030年まで残り5年となる2025年は、実現に向けた取り組みを加速するのに極めて重要な年です。
2025年に開催される大阪・関西万博は、SDGsを2030年までに達成するためのプラットフォームになります。



公益社団法人2025年
日本国際博覧会協会HPより

<https://www.expo2025.or.jp/overview/purpose/>

(事例) エプソンPaperLab A-8000
と導入先の広がり

(省略)

エプソンHP、統合報告参照



SDGsの 主流化

1 SDGsを使いこなす

2 SDGs仲間づくり

3 SDGs発信

SDGsは経営マター SDGs経営の規定演技から自由演技へ

SDGs 169のターゲット



網羅的な当てはめ



SDGsウォッシュ（ごまかし）を
避けるチェック



マトリックス整理で発信



規定演技



重点を決め直す



差別化



自由演技

SDGs経営支援ツール 笹谷マトリックス（簡素版）

ESG/ISO26000/SDGsマトリックス																			
ESG	ISO26000の7つ の中核主題	取り組み内容(例)	SDGs17目標																
																			
G	組織統治	コーポレートガバナンス																●	●
S	人権	人権の尊重関連	●				●					●						●	
	労働慣行	労働関連								●									
	公正な事業慣行	取引関連規制の順守								●				●				●	
	消費者課題	消費者保護												●				●	
	コミュニティ	地域対応		●	●	●							●						●
E	環境	環境関連						●	●					●	●	●	●		
		カーボン・ニュートラル				●			●					●	●	●			●
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17



マトリックス作成事例（省略）

モスフードサービス
SOMPOホールディングス

各HP、統合報告書参照

先進SDGs秋田県への期待 大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン

大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン

経済のグローバル化の進行や第4次産業革命の進展、新型コロナウイルス感染症をはじめとする突発的な災禍の発生など、社会経済情勢が大きく変化していく中であって、本県の目指す将来の姿として「高質な田舎」を思い描きながら、人口減少問題を克服し、将来にわたって持続的に発展していくため、令和4年3月、「～大変革の時代～新秋田元気創造プラン」を策定しました。策定に当たっては、SDGsの考え方を総括的に位置付けるとともに、各施策とSDGsのゴールとの関係を整理しています。

県民をはじめ、市町村、NPO、企業など、地域社会を構成する多様な主体と県がSDGsの理念・目標を共有するとともに、連携・協働しながら、SDGsの17のゴールの達成に向けた取組を積極的に推進していきます。

秋田県HPより

序章 はじめに

4 持続可能な開発目標（SDGs）の実現への貢献

持続可能な開発目標（SDGs）は、2015年の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに地球上の“誰一人取り残さない”持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指す17のゴール・169のターゲットから構成される国際目標です。



本県では、2期総合戦略において、SDGsの普及や啓発の観点から各政策と17のゴールとの関連性を示すとともに、2021年7月に策定した「秋田県SDGs推進方針」において、「多様性に満ちた社会づくり」や「女性活躍の推進」、「脱炭素社会の実現への貢献と経済活性化」を重点的な取組事項として掲げ、SDGsのゴールと関連付けながら各種取組を展開してきました。

プランの「4年間で創造する“元気”」（第2章参照）に掲げる「強靱化（レジリエンス）」、「持続可能性（サステナビリティ）」、「存在感（プレゼンス）」、「多様性（ダイバーシティ）」は、SDGsの理念と方向性が一致するものであることから、経済、社会、環境の三つの側面における各種主体の取組を促進するなど官民一体となってプランを推進することにより、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



3 プランとSDGsの関係

～ プランに基づく施策の推進が実現に寄与するSDGsのゴール ～

SDGsの“17のゴール”		貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに
プランの“目指す姿”					
戦略1 産業・雇用戦略					
目指す姿1	産業構造の変化に対応した県内産業の競争力の強化			●	●
目指す姿2	地域資源を生かした成長産業の振興			●	
目指す姿3	歴史と風土に培われた地域産業の活性化			●	
目指す姿4	産業振興を支える投資の拡大			●	
戦略2 農林水産戦略					
目指す姿1	農業の食料供給力の強化			●	●
目指す姿2	林業・木材産業の成長産業化			●	●
目指す姿3	水産業の持続的な発展			●	●
目指す姿4	農山漁村の活性化			●	
戦略3 観光・交流戦略					
目指す姿1	「何處でも訪れたい」な観光の創出				
目指す姿2	「美酒・美食のあきた」の創造				
目指す姿3	文化芸術の力による魅力ある地域の創生				
目指す姿4	活力あふれる「スポーツ立県あきた」の実現			●	
目指す姿5	国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築				
戦略4 次世代・地域社会戦略					
目指す姿1	新たな人の流れの創出			●	●
目指す姿2	結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現			●	●
目指す姿3	女性・若者が活躍できる社会の実現			●	●
目指す姿4	変革する時代に対応した地域社会の構築				
目指す姿5	脱炭素の実現を目指す地域社会の形成			●	●
目指す姿6	行政サービスの向上				
戦略5 健康・医療・福祉戦略					
目指す姿1	健康寿命延伸への実現			●	●
目指す姿2	安心で質の高い医療の提供			●	●
目指す姿3	高齢者と障害者の暮らしを支える体制の強化			●	●
目指す姿4	誰もが安全・安心を実感できる地域共生社会の実現	●	●	●	
戦略6 教育・人材づくり戦略					
目指す姿1	秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成				●
目指す姿2	豊かな学力の育成				●
目指す姿3	グローバル社会で活躍できる人材の育成				●
目指す姿4	豊かな心と健やかな体の育成			●	●
目指す姿5	地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化				
目指す姿6	生涯にわたり学び続けられる環境の構築				
基本政策1 防災減災・交流基盤					
目指す姿1	強靱な国土の実現と防災力の強化				
目指す姿2	交流を支える交通基盤の強化				
基本政策2 生活環境					
目指す姿1	犯罪・事故のない地域の実現			●	
目指す姿2	快適で暮らしやすい生活の実現			●	
目指す姿3	安らげる生活基盤の創出			●	
基本政策3 自然環境					
目指す姿1	良好な環境の保全			●	
目指す姿2	豊かな自然の保全				

[illegible]

AKITA SDGs

秋田県SDGsパートナー登録制度

登録要件

①SDGs達成に向けた取組方針等を宣言すること。

②「経済」・「社会」・「環境」の3側面の取組及び目標を設定すること。

③SDGs達成に向け、既に取り組み、又は登録後に取り組む具体的な取組内容を記載すること。

④取組内容とSDGsの17のゴールとの関係性が明確であること。

⑤構成員が秋田県暴力団排除条例（平成23年秋田県条例第29号）第2条第2号に規定する暴力団員でないこと。

「あきた SDGs アワード 2022」選考基準

応募書類の記載内容を踏まえ、次の各項目について4段階の基準で評価を行い、総合的に審査する。

(1) 評価項目

普遍性	・社会において幅広くロールモデルになり得る取組であるか ・継続、発展が見込まれる取組であるか
包摂性	・「誰一人取り残さない」の理念に則った取組であるか ・多様性の視点が含まれた取組であるか ・ジェンダー平等の視点が含まれた取組であるか
参画型	・脆弱な立場におかれた人々を対象とした取組であるか ・自らが当事者となって主体的に参加している取組であるか ・様々なステークホルダーを巻き込んだ取組であるか
統合性	・経済・社会・環境の3分野における課題を統合的に解決する視点が含まれた取組であるか ・SDGsの複数のゴール達成に資する取組であるか
透明性と説明責任	・自らの取組を定期的に評価しているか ・自らの取組を公表しているか ・公表した評価の結果を踏まえ、自らの取組を修正しているか
あきたSDGs 加点	・秋田県社会課題の解決、持続可能な発展などにつながる取組であるか



SDGsネイティブになるためには
SDGsの実践のために

情報源 フォーラムなどで学ぶ

教材のご紹介

開催迫る 2023.2.14-15



第5回 2023.2.14-15
東京国際フォーラムにて
オンラインでも参加できます

申し込み受付中 自治体関係者は無料
<https://www.sustainablebrands.jp/event/sb2023/special-miramachi.html>

後援

総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省、
全国知事会、全国市長会、全国町村会、

一般社団法人CSV開発機構、全国地ビール醸造者協議会（JBA）、
一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク、エコツツエリア協会（一般社
団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会）、一般社団法人チームまち
づくり



主催：未来まちづくりフォーラム実行委員会
笹谷が実行委員長

開催概要

第5回



未来まちづくりフォーラム
Sustainable Cities & Communities Forum

株式会社エヌ・エス・アイ
NECネットエスアイ

docomo
business

EPSON
EXCEED YOUR VISION

okamura
人もいい、モノもいい

熊谷組
集約する、つくる、そして、伝える。

JTB
感動のそばに、いつも。

SCMP
環境ジャパン

7
環境共生推進機構

日本製紙
環境共生推進機構

CRECIA
環境共生推進機構

未来まちづくり
フォーラム
実行委員会

菅谷 秀光 株式会社CSU/CSUインフラ部門、事業開発部長・部長
若木 隆之 N E C システムズ株式会社 経営企画部長 部長
山本 達一 NTTエシエンティティ株式会社 システム・インフラ部門 部長
大野 祐希 エフエムエフ株式会社 スマート・サービス・ソリューション 部長
約読 まゆみ 株式会社セブン・アンド・ホールディングス システム・インフラ部門 部長
大塚 光彦 株式会社 熊谷組 経営企画部長 部長
熊谷 亮太 株式会社 JTB システム・インフラ部門 部長
金井 圭 株式会社熊谷組 システム・インフラ部門 部長
金子 知生 株式会社熊谷組 システム・インフラ部門 部長
高木 尚子 株式会社熊谷組 システム・インフラ部門 部長
小寺 隆一 株式会社熊谷組 システム・インフラ部門 部長
石川 雅彦 株式会社熊谷組 システム・インフラ部門 部長
町野 弘明 株式会社熊谷組 システム・インフラ部門 部長
田口 真樹 株式会社熊谷組 システム・インフラ部門 部長
堀田 史郎 株式会社熊谷組 システム・インフラ部門 部長

後援申請中：内閣府、経済産業省

名 称：第5回未来まちづくりフォーラム

テーマ：日本SDGsモデルの最前線－混迷の時代、羅針盤SDGsで協創力を発揮－

会 期：2023年2月14日（火）13:30-20:15、15日（水）10:00-18:45

会 場：東京国際フォーラム 7F D7ホール/オンライン

参加費：5,500円（税込み／事前登録制）※自治体関係者は無料にてご招待

主 催：未来まちづくりフォーラム実行委員会

協 賛：NECネットエスアイ株式会社、NTTコミュニケーションズ株式会社、
エプソン販売株式会社、株式会社オカムラ、株式会社熊谷組、株式会社JTB、
損害保険ジャパン株式会社、株式会社セブン & アイ・ホールディングス、
日本製紙株式会社、日本製紙クレシア株式会社

後 援：総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、
国土交通省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会
一般社団法人CSV開発機構、一般社団法人全国地ビール醸造者協議会（JBA）、
一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク、
エコツヴァリア協会（一般社団法人大丸環境共生型まちづくり推進協会）、
一般社団法人チームまちづくり（一部申請中）

内 容：基調講演、ブレイクアウトセッション、自治体と企業による共創事例ピッチ、展示、ネットワーキング・ランチ、他

対 象：地方創生まちづくりに取り組む企業・団体、自治体、社会起業家、研究機関、他

併 催：サステナブル・ブランド国際会議2023 東京・丸の内



自治体SDGsの事例

Confidential

①しごとづくり事例	因 数	SDGs未来都市内容タイトル (※はモデル事業も採択の自治体)
101 岡山県真庭市	地元資源、農林漁業、製造業、付加価値創出、市場戦略	地域エネルギー自給率100% 2030“SDGs”未来都市真庭の実現～持続的に発展する農山村のモデルを目指して（私がわたしらしく生きるまち）～（※）
102 岡山県西栗倉村	森林、ESG投資、民間資金、雇用	森林ファンドの活用で創出するSDGs未来村（※）
103 鹿児島県大崎町	地元資源、公民連携	大崎リサイクルシステムを起点にした世界標準の循環型地域経営モデル（※）
104 北海道札幌市	市民、共有、ブランディング、ライフスタイル、価値観、フェアトレード	次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市・「環境首都・SAPPORO」
105 秋田県仙北市	新技術・新産業（再生エネルギー）、地元資源（湖）	IoT・水素エネルギー利用基盤整備事業
106 三重県志摩市	食、交流、観光業、世界遺産・日本遺産	持続可能な御食国の創生
②ひとづくり事例	因 数	タイトル
201 神奈川県小田原市	教育、絆、価値観、歴史・文化（二宮尊徳）	人と人とのつながりによる「いのちを守り育てる地域自給圏」の創造（※）
202 岡山県岡山市	健康志向・ウォーキング、事業スキーム（SIB）、教育（ESD）	誰もが健康で学び合い、生涯活躍するまちおかやまの推進
203 新潟県見附市	健康志向・ウォーキング	住んでいるだけで健康で幸せになれる健康都市の実現～「歩いて暮らせるまちづくり」ウォーカブルシティの深化と定着～（※）

204 山口県宇部市	人材活用、子ども	「人財が宝」みんなでつくる宇部SDGs推進事業～「共存同栄・協同一致」の更なる進化～
205 福井県鯖江市	女性、市民、若者、製造業、伝統工芸	持続可能なめがねのまちさばえ～女性が輝くまち～（※）
206 京都府亀岡市	芸術、偉人	「かめおか霧の芸術祭」×X（かけるエックス）～持続可能性を生み出すイノベーションハブ～
207 大阪府・大阪市	万博、G20サミット、環境	2025年大阪・関西万博をインパクトとした「SDGs先進都市」の実現に向けて
③まちづくり事例	因 数	タイトル
301 北海道下川町	地元資源、農林漁業	未来の人と自然へ繋ぐしもかわチャレンジ2030（※）
302 埼玉県さいたま市	地域連携・統廃合	SDGs国際未来都市・さいたま2030モデルプロジェクト～誰もが住んでいることを誇りに思える都市へ～
303 熊本県熊本市	レジリエンス、歴史・文化、絆	熊本地震の経験と教訓をいかした災害に強い持続可能なまちづくり（※）
304 富山県富山市	地域交通インフラ、コンパクト化、中心市街地、レジリエンス	コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現（※）
305 石川県白山市	産業集積、新技術・新産業、企業誘致、教育人材基盤（金沢工業大学）、ICTインフラ（NTTドコモと連携）	白山の恵みを次世代へ贈る「白山SDGs未来都市2030ビジョン」



306 静岡県静岡市	健康、集客施設、教育、歴史・文化、海洋、ブランディング	「世界に輝く静岡」の実現 静岡市5大構想×SDGs
都道府県の事例	村上因数	タイトル
401 長野県	全般（特に教育）	学びと自治の力による「自立・分散型社会の形成」
402 愛知県	全般（特に産業集積）	SDGs未来都市あいち

官民連携で
取り組む 未来
のまちづくり

「3ステップで学ぶ自治体SDGs」



SDGsの企業向け 通信教育のご案内

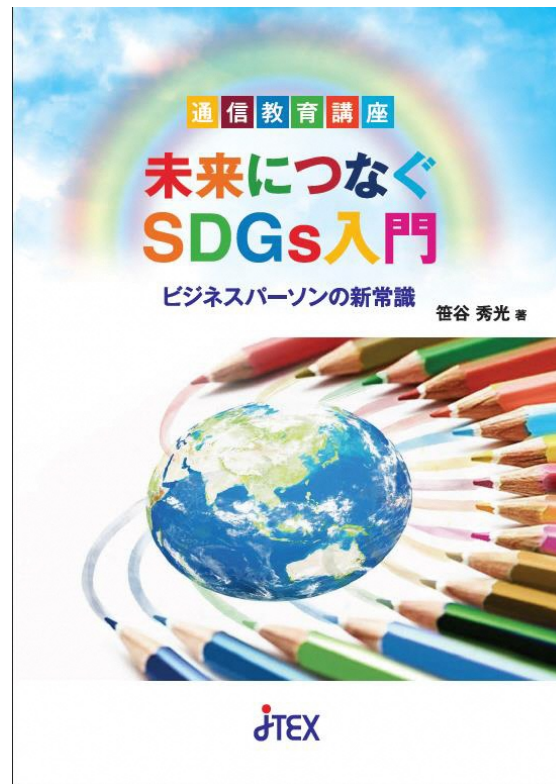
笹谷秀光著「未来につなぐSDGs入門—ビジネスパー
ソンの新常識—」

●レベル：入門・初級 ●受講期間：2ヵ月 ●教材構成：テキ
スト1冊 ●レポート回数：2回（記述式1回、マークシート
/Web1回）

実施：職業訓練法人日本技能教育開発センター（JTEX）

内容：2030年への羅針盤である「SDGs」。世界を変えるた
めに、そしてその先の未来に引き継いでいくために、本講
座では、今私たちが、企業活動を通じて何をすべきかを真
剣に考えます。そしてまた、その一歩が踏み出せる講座で
す。

問い合わせはこちら
info@csrsdg.com



未来につなぐ SDGs 入門～動画解説付き～

A38

受講期間 2 か月 受講料 14,300 円 (税込) 受講対象 入門・初級



ニューノーマル時代の新常識、「SDGs」を深くすっきり理解する

2030 年への羅針盤である「SDGs」(持続可能な開発目標)。今後、SDGs が企業の未来を創るといっても過言ではありません。2030 年の世界を変えるために、そしてその先の未来に引き継いでいくために、本講座では、今私たちが、企業活動を通じて何をすべきかを真剣に考えます。そしてまた、その一歩が踏み出せる講座です。

こんな講座です

教材構成：テキスト 1 冊
レポート回数：2 回

SDGs (持続可能な開発目標) は、2015 年、国連サミットで世界 193 カ国の合意のもとに策定された、2030 年に向けた 17 目標からなる持続可能な社会創りの羅針盤です。

本講座は、SDGs が目指すものを理解し、企業活動として SDGs をチャンスとして捉え、リスク回避にも活かしていきます。そして SDGs を特別なものではなく、“自分ごと”として捉え、自分の会社や部署で、どのように SDGs に取り組めばよいのかについて、豊富な企業・自治体の取り組み事例から学びます。2030 年の世界を変え、その先の未来に引き継いでいくために、私たちが今何をすべきかを真剣に考え、その一歩が踏み出せる講座です。

学習の目標

- ・今なぜ SDGs なのか、企業が取り組まなければならない理由を理解します。
- ・世界の環境や社会的課題を解決し、持続可能な社会を創るために、企業が SDGs にどのように貢献していくかを学びます。
- ・SDGs を“自分ごと”として捉え、“今何をすべきか”を整理し、行動計画にまで落とし込みます。

講座の特色

- ・企業 SDGs の第一人者である著者が、「産学官」で培った経験から、初心者にも分かりやすく解説します。
- ・経営幹部、SDGs 責任者・担当者はもちろん、全ての従業員の方が理解しやすい内容です。
- ・ある中堅・中小企業の取り組み事例をストーリー仕立てで紹介し、具体的な導入プロセスを学びます。また、大企業、中堅・中小企業、自治体などの豊富な実践例から、新しい発想のヒントが得られます。

カリキュラム

1 か月目学習 (基礎編)

※内容は、一部変更される場合があります。

- SDGs とは
SDGs の成り立ち SDGs の 5 つの P 17 の国際目標と 169 のターゲット
世界の動向 (達成状況/進捗状況) 多様な問題をパートナーシップで解決することを目指す
- 日本の取り組み
・日本政府の取り組み 日本の現状 日本企業・自治体の取り組み (Society5.0)
- 企業における SDGs の役割
なぜ企業が SDGs に取り組むのか 企業が取り組むべき 5 つのメリット
SDGs で変わる企業の役割 大企業だけでなく、中小企業こそ取り組もう
SDGs にはビジネスチャンスがいっぱい SDGs を企業文化にする

2 か月目学習 (実践編)

- SDGs を自社で導入するステップ
ある中小企業の取り組み事例をストーリー仕立てでご紹介
【ステップ1】SDGs を理解する 【ステップ2】優先課題を決定する
【ステップ3】目標を設定する 【ステップ4】実践する 【ステップ5】自社に根付かせる
- SDGs の成功事例 (企業/自治体)
終章 未来につなぐ SDGs

執筆者：笹谷秀光
千葉商科大学 基礎教育機構 教授
CSR/SDGs コンサルタント
農林水産省や外務省・環境省で勤務し、
環境省ではクールビズや環境化対策を
担当。消費財メーカー「伊藤園」で
は取締役などを務め、ビジネス面から
も SDGs に携わる。現在は、千葉商科
大学の教授として、SDGs について数
年に立ち、2019 年、SDGs をテーマ
にした懸賞論文が最優秀である経済産
業大臣賞を受賞。

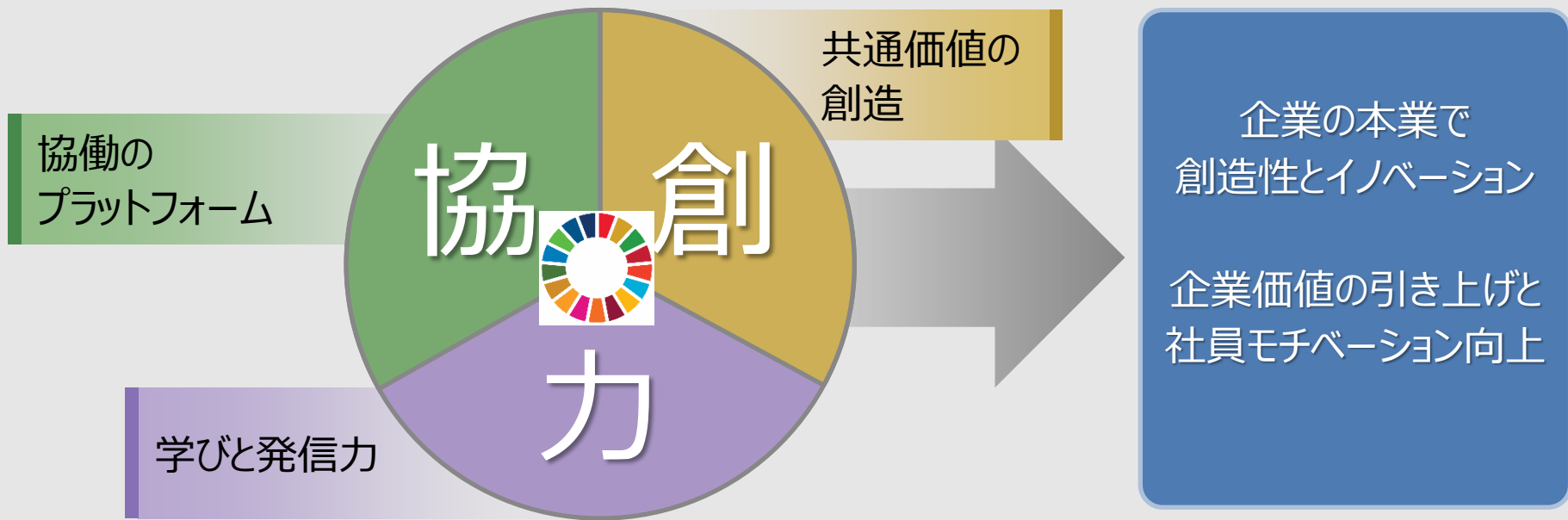
JTEX 日本技能教育開発センター

問い合わせ・申し込みはこちら、
株式会社オフィス笹谷
info@csrsdg.com

SDGs先進モデル

SDGsで協創力

連携・協働で新たな価値を生み出す力



まとめ

SDGsは世界の共通言語

SDGsはビジネスパーソンの新常識

SDGsネイティブの時代

SDGs認知度の向上

: 今こそSDGs経営

ESG/SDGsコンサルタント、千葉商科大学教授、博士(政策研究)

東京大学法学部卒業。1977年農林省入省。2005年環境省大臣官房審議官、2006年農林水産省大臣官房審議官、2007年関東森林管理局長を経て、2008年退官。同年伊藤園入社、取締役、常務執行役員を経て2019年退職。現在、千葉商科大学教授

(主な兼職)日本経営倫理学会理事、グローバルビジネス学会理事、特定非営利活動法人サステナビリティ日本フォーラム理事、宮崎県小林市「こばやしPR大使」、文部科学省青少年の体験活動推進企業表彰審査委員(平成26年度より)、地方創生まちづくりフォーラム「まちてん」2016, 2017実行委員長、未来まちづくりフォーラム実行委員長

著書 「Q&A SDGs経営 増補改訂・最新版」(日本経済新聞出版・2022年)、「3ステップで学ぶ自治体SDGs」(ぎょうせい・2020)。

問い合わせはこちらから



▶笹谷秀光の公式サイト「発信型三方よし」

<https://csrsdg.com/>

次の3タイプのご具体的ご依頼に対応いたします。

1. サステナビリティに関する理論と実践へのアドバイス・コンサルティング(CSR/CSV/ESG/SDGsなど。企業をはじめ、自治体も対象)
※スポット的、継続的いずれも対応
2. 役員との懇談(ダイアログ)、幹部研修、従業員ワークショップなど
3. サステナビリティ、まちづくり等に関する講演・シンポジウム参加、これに関連する執筆対応やアカデミア活動(大学、学会)